

## 水見コミュニティ創設20周年まつり



吉水町と小見町からなる水見コミュニティは、今年、創設20周年を迎えました。

地域住民のより一層の交流を深めるためにぎわう南部地区公民館会場「和」のテーマの下、8月には納涼祭が行われ、11月3日には南部地区公民館において、コミュニティまつりが盛大に行われました。

広場では、作りたての紅白大福や、昔懐かしいポン菓子や綿あめなどが振る舞われ、会議室には、子どもたちや地域の方々の絵画や書道、手芸などが展示され、多くの人でにぎわいました。



子どもからお年寄りまで、楽しく一日を過ごす交流の場となり、有意義なお祭りでした。

(市民記者 山口 万里子) 手作りされる振る舞い大福



京都「三千院」に植樹された“佐野桜”

市制5周年記念植樹

## 市長からのメッセージ



寒さが一段と身にしみてきました。早いものでもう1年の締めくくり、師走を迎えました。11月3日に市政功労者の表彰式を行いました。また、叙勲・褒章の発表があり、受賞された皆さんには、心からお祝いを申し上げます。これまでのご苦勞に感謝申し上げますとともに、これからも健康で、引き続きご活躍いただきますようお願いいたします。

市民京都バスの旅に合わせて、市制5周年記念の植樹祭を京都「三千院」で行いました。小堀光詮ご門主のご厚意で、観音堂の正面に「佐野桜」を植樹させていただきました。佐野桜は、淡いピンクの花をつけますので、春に三千院を訪問した際には、ぜひご覧いただきたいと思います。

「道の駅どまんなかたぬま」が、11月にオープン8周年を迎え、来場者も100万人を達成しました。イルミネーション点灯や音楽祭開催など、さまざまなイベントを実施して、ますます商売繁盛をご期待いたします。

11月は、蓬山秋祭・仙波地区新そば祭・水見地区コミュニティまつり・赤見地区コミュニティ文化祭・下彦間地区ふれあい文化祭など、地域の「まつり」に出席させていただきました。皆さんと話をすることが楽しくて、私のリフレッシュになります。

また、国際交流フェスティバル、全国へそのまち協議会総会、どまんなかフェスタ2009、JA佐野農業まつりなど大きなイベントが開催され、どの会場もたくさんの方でにぎわいました。14日には池袋サンシャインシティで、とちぎ観光物産フェアが開催され、大々的に佐野をPRしてまいりました。

さらに、28日・29日は、北海道で開催された全国生涯学習市長村協議会の「北日本生涯学習まちづくりフォーラム」に会長として挨拶し、地元の方や参加された各市町村の方に、佐野市にぜひおいでくださいとPRしてまいりました。これからも、機会あるごとに佐野市をPRして、観光立市推進のため一生懸命頑張っております。皆さんも、インフルエンザや風邪に注意して、元気に年末年始をお迎えください。岡部正英

## 60周年を迎えた唐沢子供会



記念式典の様子

11月7日、唐沢山鳩ヶ峰キャンプ場で、唐沢子供会60周年記念式典が、盛大に行われました。

会長の加藤清さん(天明小校長)は、「多くの関係者に支えられてきたことに感謝しま

す」と、あいさつをされました。また、心も体も成長する大切な時期に、学校外の体験で多くの仲間と過ごした2万人を超える唐沢子供会の卒業生は、多方面で活躍されているとのことでした。

60年の軌跡を綴った記念誌も発行され、改めて唐沢子供会が、地域の子どもたちに重要な役割を果たして来たことを感ずることができました。

さらに、唐沢子供会は、11月11日に「優良青少年団・グループ」として、栃木青少年子供財団より表彰され、60周年に花を添えました。(市民記者 中里 聖子)



会歌を斉唱する子どもたち



## みそさざいは 溝に棲む小鳥の意

みそさざいは、樹木の生い茂った沢の周辺を飛び回り、昆虫などを捕えて食べるきわめて小さくかわいい鳥です。

秋から冬になると、人家の近くにある堀や木陰にやってきて、チチツ、チチツと、美声でさえずりながら飛び回ります。敏しょうで小回りがきき、いつも尾を上にあげる習性があります。黒褐色なのであまり人目につかない鳥です。

みそさざいの「みそ」は溝が清音化したもの、「さざい」はみそさざいの古名である「さざき」が訛ったものです。佐野にはみそさざいの方言として、ミソッチョ・ミソッチョコ・ミソッチ・ミソツグなどがあります。

ミソッチョの「チョ」は、鳥が訛ったもので、溝に棲む鳥という意味です。ミソッチョコの「コ」は、昔から慣れ親しんでいて、愛らしく小さいものにつける接尾語です。ミソッチは、「ミソッチョ」と同じく「鳥」が訛ったものです。ミソツグの「ツグ」は、つぐみという小鳥と深い関係があります。

昔は、つぐみをツグともいいました。つぐみには約20種類あって、そのほとんどが10センチ以上の大きさです。つぐみの仲間の中には、みそさざいの色や形によく似たものがあったことから、5センチほどの小さなみそさざいであるにもかかわらず、それをミソツグと呼ぶようになりました。

(市民記者 森下 喜一)

## 75年ぶりの大改装、是非ご覧あれ



寄贈品奉納祭の様子

キラキラと輝く鈴、ほのかに香るヒノキのさい銭箱、力強い音が魅力の太鼓、そして読む人を魅了する掲示板。

10月24日、久保町の西宮神社で、これら4つの寄贈品が新しくお

披露目され、記念式典が行われました。

今から75年前、1934年以来的の改装であり、関係者ら約20人の方々は、新調された寄贈品に大きな拍手をしていました。

11月19日・20日の両日には、伝統の恵比須講が開催され、多くの市民でにぎわいました。これからも佐野の歴史に刻まれる神社であり続けて欲しいです。  
(市民記者 飯田 瞬)



寄贈された鈴とさい銭箱

## 池袋サンシャインシティで観光PR



観光PRに汗を流す岡部市長

11月13日から15日、東京都池袋サンシャインシティ噴水広場で「とちぎ観光物産フェア」が行われました。

佐野市のPRブースは14日に設置され、ラーメンや梨、かき菜など物産品のPRを行いました。当日は、岡部市長自らがステージに立ち佐野市のPRを行い、観光パンフレットや秀郷大福、かき菜などを配布しました。

佐野市は「観光立市」元年。たくさんの人に「佐野市」を知ってもらい、佐野市を訪れてくれる方が増えるといいですね。



美味しい梨の試食会